

《無断転載を禁ずる》

2024年度 群馬県立女子大学文学部国文学科

転入学及び編入学試験

・ 出題意図

「日本語学・日本文学・中国文学（漢文学）及び日本語教育学」

問題一

問題一は、平安時代の私家集、『伊勢集』から出題しました。古文の基礎的な文法や語彙の知識が身につけているかどうか、また、そうした基礎的な知識を応用して文脈を読み解き、女とかつての恋人の男とのやりとりを理解することができたかどうかを問いました。

問題二

問題二は近代の文学史についての問題で、「森鷗外の文学活動」「転向文学」を問いました。それらについて十分な知識を持ち、明治から大正、昭和にかけての文学史の流れを踏まえた上で、適切に説明できる能力が試されます。

問題三

問題三は日本語学についての問題です。日本語学の基礎研究に関わる基本的な事項を理解し、かつ、日本語の言語事象を具体的にとらえて、それらを的確に説明することができるかどうかを問いました。

問題四

問題四は、『子規全集』（講談社）から出題しました。まず「猶」といった再読文字や「能」、「耳」といった字の読み方等、漢文読解の基礎知識が問われます。次に「西と東」の含意を、前後の文脈から推測する力を問いました。最後に、「咳嗽に接する」という、日本語（漢語語彙）表現についての知識を問いました。

問題五

問題五は日本語教育学についての問題です。日本語教育に関する基礎的な知識を持っているかどうか、また、それらについて具体的な事例を示しながら説明できるかどうかを問いました。